２０２１年度
自己点検・自己評価報告書(案)

（令和３年４月～令和４年３月）

専門学校　国際貢献専門大学校

専門学校　国際貢献専門大学校　自己点検・自己評価実施要領

１　対象期間　２０２１年4月１日～２０２２年3月３１日

２　実施方法

⑴　学内に自己点検・自己評価委員会を設置して、委員会を構成するメンバーにより、学校教育法に基づき、教育水準の向上と適切な運営を実施していくため、自己点検項目を設定し、自己評価を実施する。

　この際、令和３年文部科学省委託事業「職業専門実践課程の充実に向けた自己点検・評価システムと質保証・向上のための取組」の自己点検・評価標準モデルを活用して行うこととする。

⑵　委員会の編成

ア	委員長	宮田	智栄	（学　長）		
イ	委　員	荒井	昌毅	（事務部長）	宮里　守幸	（教務課長代理）
		大場	章市	（玉川事務課長代理）	藤森　慎太郎	（教員：就職担当）
		廣瀬	浩文	（学生指導課主任）	出田　誠	（事務局　担当）

⑶　評価項目

①　教育理念・目標
②　学校運営
③　教育活動
④　学修成果・教育成果
⑤　学生支援
⑥　教育環境
⑦　学生の受入れ募集
⑧　教育の内部質保証システム
⑨　財務
⑩　社会貢献・地域貢献
⑪　国際交流

⑷　評価方法（４段階評価）基準

４　：　適切である。
３　：　ほぼ適切である。
２　：　やや不適切である。
１　：　不適切である。

⑸　学内で評価した自己点検・自己評価結果を、学校関係者評価委員会において、学校の教育活動及び学校運営の状況について評価を行う。

　その結果を、部外に公表する。

自己点検・評価表（2022 モデル Ver. 2.0_B）

実施日：令和４年６月２日
学校名：国際貢献専門大学校

１　学校の教育目標

⑴　建学の精神（理念）
国際貢献専門大学校は、国際社会で活躍し国際貢献に寄与できるグローバルな人材を育成する。

⑵　教育目標
日本が誇る技術や知識及び人間力を身に付け、世界を舞台に国際貢献を果たせる人材を育成する。

⑶　育成するグローバル人材像
国際貢献に寄与できる人材が兼ね備えるべき項目（資質）
①　優れた語学力・コミュニケーション能力
②　高度な専門知識
③　多様な価値観
④　思いやりの心
⑤　異文化に対する理解と国境を越えた行動力

２　本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

⑴　年間を通じて以下の事項を本校の使命として各種教育や学生指導へ反映させることを目標とする。
①　高い日本語能力、深い日本への理解、そして寛容力を備えたグローバルな人材を育成し希望の進路へ送り出すこと。
②　日本人ならではの「心を築く」、「きめ細やかな技術」、「ニーズに答えるアイデア」、「壁にぶち当たっても乗り越えようとする気構え」を身につけさせること。
③　日本の良さ、日本の魅力、世界が知らない日本の長所を理解させること。

⑵　本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画
①　学生募集に関する広報活動について国内募集課のみならず、全教職員が一体となって入学定員を確保するための組織的な取り組みを図る。オープンキャンパスや学校説明会などの協力体制を充実させる。
②　学生情報管理システム（ＷＳＤＢ）を活用し、きめ細かな学生指導を行うとともにＩＣＴ化及びペーパレス化を推進する。
③　職業実践専門課程の認定課程の認定校としての特長を生かし、教育の質の保証を図る。
④　中途退学者及び除籍者の減少へ向けて、各課と教職員が連携しきめ細やかな指導を行う、特に学費納入時期の支払困難者が行方不明者とならないように注力する。

⑶　その他の施策の導入
①　教育評価の導入
年２回、各科目の学則規定回数終了時に授業評価アンケートを実施し、授業評価と学生個人の学習の振り返りを行い、授業内容の質向上・学習態度の向上へつなげる。
②　ＪＬＰＴ対策
日本語能力試験の対策会議を姉妹校である日本語学校と合同で週１回実施し、情報交換を行う。
また、試験日１か月前から学生個人のレベルに応じた特別クラスを編成し、「定期的な模擬試験」、「迅速なフィードバック」、「教室の環境整備」を行い、合格率の向上を図る。

3　評価項目の達成及び取組状況

⑴　評価項目の達成状況

①　新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、企業研修の中止等が続き、昨年度同様、コミュニケーション能力や対人スキルの修得等、細かな教育活動の遂行に影響が及んだ。

②　企業連携による実習主体の教育に遠隔授業の特性から少なからず影響を及ぼしたが、カリキュラムとしては完結できた。

⑵　達成への取組み状況

①　多様化する社会に適応・貢献できる学生を社会人として送り出すための人材育成を行う。

②　企業と連携している科目の確認

本学は、学科科目と職業実践専門課程における企業連携科目の整合性を確認するとともに、連携している企業との業務提携を結ぶ契約の締結の継続を図る。

③　教員の研修

・　教員研修の予定表作成および研修実績の報告取りまとめ

・　企業と連携した研修の選定・企画及び研修の実施

⑶　委員会等の設置

①　教育課程編成委員会の設置

・　対象となるＩＴ学科に設置し、実践的な職業教育を実施する為のカリキュラム策定を主な役割とし、カリキュラム編成に係る授業内容やその進め方などを検討する目的の委員会の発足。

・　教育課程編成委員会実施要項の作成

・　委員会を構成する委員の選定及び就任依頼

・　委員会の実施（毎年９月と３月）

②　学校関係者評価の実施と委員会設置

・　学校関係者評価は、卒業生、保護者、関連した企業・団体など学校を取り巻く各関係者で編成された委員会から学校自体の評価を受け、その意見を学校運営に取り入れ、環境を整備していく事を目的とするものである。

・　学校関係者委員会の発足

・　委員会を構成する委員の選定及び就任依頼

・　委員会の実施（毎年９月と３月）

・　学校関係者評価報告書の公開

③　各申請様式および学校情報の公開

・　職業実践専門課程の承認の為に必要な申請情報をホームページに公開

・　学校の財務情報を公開

・　各ポリシー（ディプロマ・カリキュラム・アドミッション等）を公表

・　評価項目：　適切…4　ほぼ適切…3　やや不適切…2　不適切…1

・　職業実践専門課程に認定され、１年目を迎え、実務実習を実施した事で企業から教育の成果を承認頂いたことは大きな成果に繋がったが、コロナ禍におけるオンライン授業を通して、実践力を身につけさせるための効果的な授業方法の開発が課題となっている。

⑶　今後の改善方策及び計画

・　教育課程編成委員会と本学教職員による意見交換が十分に行われなかった。

教員の指導目的の明確化、学生の授業に対する内容の把握や到達目標の設定を明確にする為にシラバスの可視化に努めていく。

・　次年度に向け各ポリシーの草案を含めて準備していく。

1　教育理念・目標				カテゴリー	適切・・4、ほぼ適切・・3、やや不適切・2．不適切・1				エビデンス例
1	1	中項目	理念・目的・育成人材像（教育理念（建学の精神）・目的・目標、育成人材像等が明文化されているか。職業教育機関として専修学校教育に必要とされる考え方や指針、内容等が盛り込まれているか）						
1	1	1	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか （専門分野の特性が明確になっているか）	A	4	(3)	2	1	寄付行為、学則、学園運営計画、ＨＰ
1	1	2	学生・保証人（保護者）に対して教育理念等を明文化し、周知しているか	A	4	(3)	2	1	学校・学科（理念・目的）を紹介するパンフレット、ＨＰ、オリエンテーション 学生心得
1	1	3	教職員に対して教育理念等を明文化し、周知徹底を図っているか	B	(4)	3	2	1	講師会、教務懇談、学生心得
1	1	4	学外の方に対して教育理念等を明文化し、公表しているか	B	(4)	3	2	1	ＨＰ、パンフレット、募集要項
1	2	中項目	教育の特色（社会や関連業界のニーズを踏まえた将来構想を描いていますか）						
1	2	1	各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか （コース修了後に、学習者がそのコンピテンスのレベルを必要とする目的や状況が明確にされているか）	A	(4)	3	2	1	ＨＰ、教育課程編成委員会
1	2	2	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか（学校の将来構想を描くために、業界の動向やニーズを調査しているか）	A	4	3	(2)	1	学校関係者評価委員会、就職担当者会議
1	2	3	学校における職業教育の特色は明確になっているか	A	4	(3)	2	1	学則、シラバス

1　課　題

○　コロナ禍により実施できなかった企業との連絡協議会等、感染状況を踏まえ、十分な対策を講じながら関係企業と連携し、改めて充実させていく必要がある。

2　今後の改善策

○　学校評価委員会等の開催を通して、教育の特色を明確にしていく取り組みを充実させていく。

3　特記事項

○　育成人材像並びに学校の将来構想は明確なビジョンを抱けていないが、今年度より、「先端技術の獲得」をキーワードに、授業改善を図っている。

○　年度初めの学長訓示・理事長あいさつの中で学校理念を全職員に周知し、中途採用者に対しては新人研修カリキュラムに位置づけ、役員講話の中で周知及び徹底を図っている。

○　令和３年度職業専門実践課程の認可を受け、企業との連携が深まり、人材育成像を踏まえた職業教育も充実・進化している。

2　学校運営	カテゴリー	適切・・4、ほぼ適切・・3、やや不適切・2．不適切・1	エビデンス例

2	1	中項目	運営方針（運営方針は教育理念等に沿ったものになっているか）						
2	1	1	教育方針や教育目的等に沿った運営方針が策定されているか	A	4	3	2	1	学校の運営方針を示す資料、教務懇談、講師会資料
2	1	2	運営方針を教職員に周知しているか、また必要に応じてその理解の状況を確認しているか	B	4	3	2	1	各種会議の教職員への徹底、教務会議
2	2	中項目	事業計画（事業計画を作成し、執行しているか）						
2	2	1	運営方針に沿った事業計画を策定し共有しているか	A	4	3	2	1	学園運営計画
2	2	2	学校の年間スケジュールはあるか	A	4	3	2	1	年間行事予定表、年間教育予定表
2	3	中項目	運営組織（運営組織や意思決定機関は効率的なものになっているか）						
2	3	1	寄附行為、理事会会議規則等（法人）、学校の運営規程等が整備され、それらに従って理事会・評議員会（法人）、学校の運営会議等が開催されているか	A	4	3	2	1	寄付行為、理事会・評議会議事録、理事名簿
2	3	2	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	A	4	3	2	1	
2	3	3	組織機能図があるか	A	4	3	2	1	組織図、校務分署表
2	3	4	運営会議（教職員会議・教員会議等）が定期的に開催されているか	B	4	3	2	1	教務会議議事録、終礼議事録
2	3	21	出退勤管理簿があるか	A	4	3	2	1	出勤簿、
2	3	22	教職員の健康診断がされているか	A	4	3	2	1	健康診断計画、健康診断実施記録、就業規則
2	3	41	施設設備の保守・管理が定期的に行われているか	A	4	3	2	1	施設管理表 ＥＶ点検、電気保安検査
2	4	中項目	教職員の評価・育成（教員及び職員の能力評価・能力向上に向けた取組みを行っているか）【3.5】						
2	4	1	資格・要件を備えた教員を確保しているか	A	4	3	2	1	教職員名簿、実務経験者一覧、
2	4	2	現に教員数が充足していない場合、採用活動を行っているか、または、教員資格等取得に向けた教育・指導を行っているか	A	4	3	2	1	ＨＰ、求人申込書、求人票
2	4	3	授業評価の実施・評価体制はあるか	A	4	3	2	1	授業アンケート
2	4	4	教員の組織体制を整備しているか	A	4	3	2	1	講師会議事録、教員組織図
2	4	21	職員の能力開発のための研修等が行われているか	A	4	3	2	1	研修報告書、、実施計画・実施状況
2	4	22	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成等資質向上のための取組みが行われているか（研修等の効果を評価し、文書により記録しているか）	A	4	3	2	1	研修報告書、

2	4	23	教育の成果（学修結果）に基づく教員面接を実施しているか	B	4	3	2	1	教員・講師面談記録
2	4	24	［職業実践専門課程］専攻分野に係る関連分野の企業・団体等と連携し、実務に関する研修や指導力の修得・向上のための研修等を教員の業務経験や能力、担当する授業や業務に応じて組織的・計画的に受講させているか	B	4	3	2	1	研修報告書
2	4	25	教員に対して、割り当てられた職務及び責任、学習サービスの評価結果、本人の専門能力開発のニーズに対する見解を考慮に入れて、専門能力開発の計画を作成しているか（教職員研修計画の作成）	B	4	3	2	1	研修報告書
2	4	41	教育内容の改善を図るため、教職員と非常勤講師等との定期的な情報交換を行っているか	B	4	3	2	1	講師会、クラスノート
2	5	中項目	人事・給与制度（人事・給与に関する制度を確立しているか）						
2	5	1	人事に関する制度を整備しているか	A	4	3	2	1	就業規則、人事評価規定
2	5	2	給与に関する制度を整備しているか	A	4	3	2	1	給与規定、退職給与規定、旅費規程
2	5	3	昇給・昇格制度は文書化されているか	B	4	3	2	1	人事評価規定、給与規定
2	5	4	採用制度は文書化されているか	B	4	3	2	1	
2	6	中項目	情報システム（情報システム化等による業務の効率化が図られているか）						
2	6	1	情報システム化等による業務の効率化が図られているか（情報システム化に取組み、業務の効率化を図っているか）	A	4	3	2	1	ＷＳＤＢ、テレビ会議システム、教室カメラシステム、校内放送システム

1　課　題

○　職員の能力開発や指導力育成に関する研修制度が確立できていない。

2　今後の改善策

○　関係機関から案内される研修会への積極的な参加を促し、授業力向上やコンプライアンスに関する内容の研修など、教職員としての資質を向上させるための研修を計画的に位置付けていく。

3　特記事項

○　組織運営のための職員会議や教務会議、非常勤講師を定期的に開催し、進捗状況の確認・目標設定を確認し、問題点の解消や事業計画の修正を実施している。

○　昨年度から導入した学生管理システム(WSDB)を活用した業務の効率化も成果をあらわしてきている。

3　教育活動				カテゴリー	適切‥4、ほぼ適切‥3、やや不適切‥2．不適切‥1				エビデンス例
3	1	中項目	目標の設定（教育理念、教育目的および育成人材像に沿った教育課程を編成・実施しているか）						
3	1	1	教育目的および育成人材像に基づき教育課程の編成・実施方針（カリキュラムポリシー）を明示し、また学校構成員（教職員および学生等）に周知し、社会に公表されているか。また定期的に検証を行っているか	A	4	(3)	2	1	ＨＰ、教育課程編成員会議事録、シラバス カリキュラムポリシー
3	1	2	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	A	(4)	3	2	1	カリキュラム
3	1	3	教育目的および育成人材像に基づきディプロマポリシーを明示し、また学校構成員（教職員および学生等）に周知し、社会に公表されているか。また定期的に検証を行っているか	B	4	(3)	2	1	ＨＰ、学校関係者評価委員
3	2	中項目	教育方法・評価等（各学科の教育目標、育成人材像に向けて、体系的なカリキュラム作成などの取組がなされているか）						
3	2	1	教育理念・到達目標に沿って学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	A	(4)	3	2	1	シラバス、
3	2	2	講義および実習に関するシラバスは作成されているか	A	(4)	3	2	1	シラバス
3	2	3	各科目の１コマの授業ごとに、その授業シラバスが作成されているか	B	(4)	3	2	1	シラバス
3	2	4	シラバスあるいは講義要項（作成されていればコマシラバス）などが事前に学生に示され（あるいはホームページなどで公開されて）、授業で有効活用されているか	B	4	(3)	2	1	シラバス、事業報告書
3	2	21	適切な評価体制を有し、授業評価が実施されているか（教育内容およびその評価方法、評価項目、手段、スケジュールは適切か）	A	(4)	3	2	1	成績評価基準、
3	2	22	質保証を目的とした授業や学習の定期的な観察を実施しているか	B	4	(3)	2	1	授業評価チェックシート
3	2	23	学生によるアンケート等で、適切に授業評価を実施しているか（学習の目的を満たしているか、満足度を含めて定期的に確認しているか）	B	(4)	3	2	1	授業アンケート、卒業アンケート
3	2	24	評価結果を教員にフィードバックするなど、その結果を授業改善に役立てているか	B	4	(3)	2	1	シラバス、授業アンケート
3	2	41	カリキュラム作成のために複数のメンバーによりカリキュラムの作成が行われているか （カリキュラム作成委員会等）	B	(4)	3	2	1	

3	2	42	カリキュラム作成メンバーの中に業界関係者などの外部関係者を入れるかまたはその意見を取り入れているか	B	4	(3)	2	1	教育課程編成委員会
3	2	81	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリュキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	A	4	(3)	2	1	キャリア教育シラバス
3	2	82	関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられ、その内容、評価法などが事前に決められているか	B	4	(3)	2	1	企業との協定書
3	2	83	［職業実践専門課程］専攻分野に係る関連分野の企業・団体等と連携し、演習・実習等を行っているか	B	4	(3)	2	1	教育課程委員会議事録
3	2	84	企業・施設等での職場実習（インターンシップ含む）があるか	B	4	(3)	2	1	実習受諾書
3	3	中項目	成績評価・単位認定等（成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか）						
3	3	1	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	A	(4)	3	2	1	成績評価規定、進級・卒業判定会議
3	3	2	学生や保証人（保護者）に対し、成績評価・単位認定の基準、進級要件、卒業要件はきちんと提示されているか	B	(4)	3	2	1	成績評価規定、進級・卒業判定会議
3	3	3	各規定に基づき適切に成績評価・単位認定、進級・卒業判定を行っているか	B	(4)	3	2	1	成績評価規定、シラバス、科目ごとの成績表
3	3	4	［職業実践専門課程］専攻分野に係る関連分野の企業・団体等と連携し、学生の学修成果の評価を行っているか	B	4	(3)	2	1	成績評価規定、シラバス、各種判定会議議事録
3	4	中項目	資格・免許取得の指導体制（資格・免許取得のための指導体制があるか）						
3	4	1	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか（発行する修了証明書の種類及び内容）	A	(4)	3	2	1	シラバス、検定試験一覧、成績証明書、出席証明書、卒業証明書、試験実施計画
3	5	中項目	キャリア教育等（基礎的・汎用的能力（ ① 人間関係形成・社会形成能力、② 自己理解・自己管理能力、③ 課題対応能力、④ キャリアプランニング能力）を身につけるための取組が実施されているか）						
3	5	1	キャリア教育を行ない、学生の社会的・職業的自立に向け必要な基盤となる能力や態度を育成しキャリア発達を促しているか	B	(4)	3	2	1	企業との協定書、シラバス キャリア教育ガイダンス
3	5	2	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか。	A	4	(3)	2	1	シラバス、

1　課　題

○　職業教育を行う上で、演習・実習の充実を図り、学生へ確かな技能を身につけさせるために協力企業と連携して教育内容を追究する必要がある。

○　コロナ禍の影響を受け、IT ビジネス学科ホテル・観光サービスコースのみ実務研修が行えなかったので、関係企業と連携しながら実施策を検討する必要がある。

2　今後の改善策

○　職業実践専門課程認定校としての特長を全教職員で共有し、協力企業等との連携を密にし、協力企業の意見が反映されたカリキュラム構築のための協議の場を設定する。

○　HP を活用し、学生に対しシラバスの周知を充実させていく。

3　特記事項

○　これまでの感染症対策として実施したオンライン授業及びそれに伴うシラバスを修正した経験を生かして、教育活動の質の向上と感染症予防対策の両立を計画的に展開することができた。

○　卒業後の就職・進学に向けた教育活動及び学生指導を中・長期的視点に立って実践し、体系的にキャリア教育を推進する基盤が整ってきた。

4　学修成果・教育成果				カテゴリー	適切・・4、ほぼ適切・・3、やや不適切・2. 不適切・1				エビデンス例
4	1	中項目	学修成果（各学科の教育目標、育成人材像に向けてその達成への取り組みと評価がされているか）						
4	1	1	コース全体を通して、及びコースの修了時に、学習者の習熟状況をアセスメントしているか	A	(4)	3	2	1	試験成績一覧表
4	1	2	学生の学修成果の評価に際して、育成する人材像に沿った評価項目を定め、明確な基準で実施されているか（測定する知識、スキル及び能力、測定の基準、アセスメントの方法は明確か）	B	(4)	3	2	1	成績評価基準、科目シラバス
4	2	中項目	就職率（就職率の向上が図られているか）						【4.0】
4	2	1	就職率の向上が図られているか（結果を分析し、就職指導・支援の改善を図っているか）	A	(4)	3	2	1	就職関連科目シラバス、就職実績報告書
4	2	2	学生の就職に関する目標に対して教職員に共有されているか	A	(4)	3	2	1	教務会議資料
4	2	3	学生の就職活動に関する記録がなされているか	B	4	(3)	2	1	
4	2	4	対外部に向けた就職実績を公表しているか（パンフレット・HP等）	B	4	(3)	2	1	パンフレット、HP
4	3	中項目	資格・免許の取得率（資格・免許取得率の向上が図られているか）						
4	3	1	資格取得率の向上が図られているか（目標とする資格試験等への合格率は全国平均と比較してどうか）	A	4	(3)	2	1	資格・試験取得表
4	3	2	資格・検定・コンペに関する目標を設定したか	A	(4)	3	2	1	目標資格・試験一覧表
4	3	3	資格・検定・コンペに関する目標・計画が教職員に共有されているか	B	(4)	3	2	1	教務会議資料
4	3	4	資格・検定・コンペ結果に関して検証・報告がされたか	B	4	(3)	2	1	検定試験結果一覧表
4	3	5	資格・検定・コンペの結果（合格者数・合格率）を公表しているか	B	(4)	3	2	1	パンフレット、HP

4	4	中項目	社会的評価（卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか）						
4	4	1	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか （卒業生の就職後の動向を出来るだけ把握し、卒業後にも就職その他の支援を行っているか）	A	4	3	2	1	卒業アンケート、就職担当者訪問計画、 貢献会（同窓会）

1　課　題

○　資格取得率の向上を図る必要がある。

2　今後の改善策

○　JLPT をはじめとする資格試験に向けた対策授業を設定し、資格取得に向けた対策授業を強化する。

○　貢献会(同窓会)を充実させ、卒魚製の動向を把握するとともに、在学学生の意見を学校運営に反映させやすくする。

3　特記事項

○　JLPT 合格に向けた対策として、日本語の授業を学生の受験資格級に応じた習熟度別クラス編成を行い、学生の個々に応じたきめ細やかな指導を行った。

○　学生一人一人に就職に向けた中・長期計画票を作成させたことにより、学生が就職に向けた展望を持つことができ、内定率が、昨年度と比較して飛躍的に向上した。

5　学生支援				カテゴリー	適切‥4、ほぼ適切‥3、やや不適切‥2．不適切‥1				エビデンス例
5	1	中項目	修学支援（学生に対する修学支援に関する支援組織体制を整備し、学生が学修に専念し、安定した学生生活を送ることができるように図っているか）						
5	1	1	学生への修学支援を適切に行っているか	A	4	3	2	1	学生指導記録
5	2	中項目	就職等進路（就職・進学指導に関する支援体制は整備され、有効に機能しているか）						
5	2	1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか（またそれはきちんと学生や保証人（保護者）に周知されているか）	A	4	3	2	1	オリエンテーション資料
5	3	中項目	学生相談（学生相談に関する体制は整備されているか）						
5	3	1	学生相談に関する体制は整備されているか（相談窓口が設置されているか）	A	4	3	2	1	就職相談室の設置、
5	3	2	学生の面談・相談記録があるか	B	4	3	2	1	個別面談記録
5	4	中項目	学生生活（学生に対する経済的な支援体制は整備されているか。学生の健康を担う組織体制はあるか。生活環境支援体制を整備しているか）						
5	4	1	奨学金制度など、学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	A	4	3	2	1	募集要項、奨学金説明会資料
5	4	21	学生の健康管理を担う組織体制はあるか（学生の健康診断を実施、また健康相談窓口は整備されているか）	A	4	3	2	1	健康診断計画、年間予定表、 健康委員会（校医）

5	4	41	課外活動に対する支援体制は整備されているか	A	4	3	2	1	課外活動記録
5	4	42	学生の生活環境への支援は行われているか （学生のアパート探しなど、住環境への支援体制はあるか）	A	4	3	2	1	募集要項
5	5	中項目	中途退学への対応（退学率の低減が図られているか）						
5	5	1	退学率の低減が図られているか （受講登録、出欠状況及び学習者の減少に関する分析が行われているか）	A	4	3	2	1	除籍・退学者一覧表、自主退学届及び指導記録
5	5	2	退学率の目標を設定しているか	A	4	3	2	1	
5	5	3	退学率の低減に関する目標・計画が教職員に共有されているか	B	4	3	2	1	ＨＰ
5	5	4	退学者数を公表しているか	B	4	3	2	1	学生指導記録
5	6	中項目	保証人（保護者）との連携（保証人との連携体制を構築しているか）						
5	6	1	保証人（保護者）と適切に連携しているか(保証人のニーズを把握しているか)	A	4	3	2	1	
5	6	2	保証人（保護者）との計画的な相談会・面談を行っている	B	4	3	2	1	
5	7	中項目	卒業生・社会人支援（卒業生の動向を把握しているか。社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか）						
5	7	1	卒業生への支援体制を整備しているか（再就職、キャリアアップ等について、相談に乗っているか）	B	4	3	2	1	貢献会会則、
5	7	21	卒業生への卒後教育等の支援体制はある（卒業生への講習・研修を行っているか）	B	4	3	2	1	パンフレット、ＨＰ
5	7	41	社会人学生のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	A	4	3	2	1	

1　課　題

○　特になし

2　今後の改善策

○　学生の特性を踏まえた連携の在り方を検討し、学生支援の充実を図る。

3　特記事項

○　クラス担任を中心に学生に寄り添った支援を行い、日本で就職するため必要な資質、手順、ルールの徹底を図った。

○　コロナウィルス感染が判明した学生に対し、行政上の手続きの仕方はもとより、行政機関が実施する各種支援策に対する手続きの支援や外出できない学生に対し家庭訪問による食支援を行うなど、物心両面から学生を支援することができた。

6　教育環境	カテゴリー	適切・・４、ほぼ適切・・３、やや不適切・２．不適切・１	エビデンス例

6	1	中項目	施設・設備等（施設、設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか）						
6	1	1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか（講義室は学生数、時間割にあわせ、無理なく配備されているか）	A	4	3	2	1	学校設置認可申請書、教室配置図、
6	1	2	学生が利用できる参考図書・関連図書は備えられているか	A	4	3	2	1	資産目録
6	1	3	教育上の必要性に対応した機材・備品を整備しているか	A	4	3	2	1	教育備品一覧表、パソコン管理表（点検簿）
6	1	21	分煙・禁煙等に関する規定が文書化・掲示されているか	B	4	3	2	1	掲示物
6	1	22	学内の整理・整頓・清掃に関して定期的に管理・チェックがされているか	B	4	3	2	1	教師清掃チェック、除菌記録簿
6	1	41	施設・設備の点検、補修・修繕等は定期的にまたは適宜行っているか	A	4	3	2	1	施設・設備点検票、ＥＶ点検記録簿、電気保安検査記録簿、防火点検記録簿
6	2	中項目	学外実習、インターンシップ等（校外の実習、インターンシップ、海外研修等について、十分な教育体制を整備していますか）						
6	2	1	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	A	4	3	2	1	課外実習計画
6	2	2	実技・実習に先立って、職業倫理や情報の取扱いに関する規程・マニュアルや規則が整備されているか。	B	4	3	2	1	学生心得
6	3	中項目	防災・安全管理（防災・安全管理に関する体制を整備しているか。防災訓練等を実施しているか）						
6	3	1	防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	A	4	3	2	1	防災マニュアル、
6	3	2	防災・防犯設備（非常灯・消火器・警備システム等）が整備・点検されているか	A	4	3	2	1	消防計画、避難マニュアル
6	3	21	定期的に防災訓練を実施しているか	A	4	3	2	1	防災訓練計画
6	3	41	学校における安全管理の整備を行っているか	B	4	3	2	1	危機管理マニュアル

1　課　題

○　昨年度、実施ができなかったホテル等でのインターンシップ等を、再度、計画したが、今年度もコロナ感染症の影響で計画通りの実施ができなかった。改めて、カリキュラム実施に向けた体制を整備する必要がある。

2　今後の改善策

○　職業実践専門課程認可校として、教育活動に企業との連携強化を図ることができた。今後、さらなる連携強化を図り、学生が技能・技術の確かな定着を図ることができるように、教育活動及び学習内容の充実を図る。

3　特記事項

○　除菌や拭浄を定期的に行うなどの感染症対策に加え、年々、教育活動に必要な環境・設備は充実できている。

○　昨年度まで課題であった防災に対する各種計画を、今年度は、学生の実態に合わせ、避難訓練や防災教育として実施することができた。

7　学生の受入れ募集				カテゴリー	適切・・4、ほぼ適切・・3、やや不適切・2．不適切・1				エビデンス例
7	1	中項目	学生募集活動（学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に学生募集および入学者選抜を行っているか。社会人入学生、留学生、障がい者等、多様な学生の受入れについて方針を明確にしているか）						
7	1	1	学生募集活動は、適正に行われているか	A	(4)	3	2	1	パンフレット、募集要項、ＨＰ、
7	1	2	入学者受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）を策定し、学校構成員（教職員および学生等）に周知し、社会に公表しているか	A	4	(3)	2	1	募集要項、ＨＰ
7	1	3	学校案内に、育成人材像、特徴、目指す資格・免許等をわかりやすく紹介しているか	A	(4)	3	2	1	パンフレット、ＨＰ
7	1	4	学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に学生募集を行っているか	A	(4)	3	2	1	募集要項、業務日報、日本語学校訪問計画
7	1	21	入学に関する問い合わせ等に適切に対応できる体制ができているか	A	(4)	3	2	1	組織図
7	1	22	学校説明会等による情報提供（育成人材像、評価手段及びその基準、目指す資格・検定・コンペ、学費・教材費等の情報）を行っているか	A	(4)	3	2	1	オープンキャンパス実施計画、ＨＰ、募集要項、説明資料
7	1	23	入学予定者に対し学習指導・支援等は行われているか	B	(4)	3	2	1	オリエンテーション資料
7	2	中項目	入学選考（入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか）						
7	2	1	学校案内等には選抜方法が明示されているか（入学に必要な学力、スキル、資格、職業経験などの、前提となる要件が明示されているか）	A	(4)	3	2	1	募集要項、学校案内
7	2	2	学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に入学者選抜を行っているか	A	(4)	3	2	1	選考基準、合格判定会議、試験評価表
7	3	中項目	学納金（学納金は妥当なものとなっているか）						
7	3	1	学納金は妥当なものとなっているか	A	(4)	3	2	1	募集要項
7	3	2	学校案内等に、学費、受験料、学習教材の購入費等が明示されているか	A	(4)	3	2	1	パンフレット、募集要項

1　課　題

○　学生の実態・ニーズ及び社会に通用する人材育成に向けた魅力あるカリキュラムの検討。

2　今後の改善策

○　SNS 等を活用し、留学生及び国内の高等学校や高等専修学校等への働き掛けを強化する。

○　入学を希望する学生及び社会のニーズを追究し、学校訪問等を通して計画的・広域的に行い、募集広報活動の強化を図る。

3　特記事項

○　コロナ禍における学生募集に関して、内部進学及び学外からの成績収集車に対し、学費優遇の措置を講じ、学生負担の軽減を図っている。
○　学生募集及び入試事務において、受験生の立場に応じたきめ細やかな支援を行うことができた。

8　教育の内部質保証システム				カテゴリー	適切・・4、ほぼ適切・・3、やや不適切・2．不適切・1				エビデンス例
8	1	中項目	関係法令、設置基準等の遵守（法令、専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行なっているか）						
8	1	1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	A	(4)	3	2	1	
8	1	2	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	A	4	(3)	2	1	組織図
8	1	3	関係法令に基づく管理運営に関する学内諸規程を整備し適切に運用しているか	B	(4)	3	2	1	コンプライアンス規定、学生心得
8	2	中項目	個人情報保護（個人情報に関する規程を整備し、個人情報に対する対応を取っているか）						
8	2	1	学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	A	4	(3)	2	1	個人情報保護規定
8	2	2	個人情報保護規程が文書化されているか	A	4	3	(2)	1	個人情報保護規定
8	2	3	個人情報の取扱いについて、教職員に対し周知し、意識づけができているか	B	4	(3)	2	1	個人情報保護規定
8	3	中項目	学校評価（自己評価、学校関係者評価の実施体制を整備しているか）						
8	3	1	学校教育、学校運営について、自己点検・評価を実施し、さらに課題解決に取り組んでいるか	A	4	(3)	2	1	自己点検・評価報告書、
8	3	2	自己点検・評価報告書にまとめているか（自己点検・評価報告書があるか）	A	(4)	3	2	1	自己点検・評価報告書
8	3	3	自己点検・評価の組織があるか	B	(4)	3	2	1	自己点検・評価委員会
8	3	21	学校関係者評価の実施体制を整備し、学校関係者評価を実施し、改善の取組みを行っているか	B	4	3	(2)	1	学校関係者評価委員会、委員名簿、議事録
8	4	中項目	改革・改善（各学科の教育目標、育成人材像に向けて自己点検・評価活動の実施体制を確立して改革・改善のためのシステムが構築されているか）						
8	4	1	自己点検・評価の必要性を全教職員に伝える機会を設けたか	A	4	(3)	2	1	教務会議
8	4	2	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	A	4	(3)	2	1	改善報告書
8	4	3	自己点検・評価の結果に基づき改善計画を策定したか	B	4	(3)	2	1	
8	4	4	自己点検・評価の結果に基づき期限を定めて改善計画に基づいた結果の検証がされたか	B	4	(3)	2	1	

8	4	5	学校関係者評価の結果に基づき改善計画を策定したか	B	4	(3)	2	1	
8	4	6	学校関係者評価の結果に基づき期限を定めて改善計画に基づいた結果の検証がされたか	B	4	(3)	2	1	
8	5	中項目	教育情報の公開（教育活動に関する情報公開を積極的に行っているか）						
8	5	1	教育活動に関する情報公開が適切になされているか	A	(4)	3	2	1	ＨＰ
8	5	21	自己評価結果を公開しているか	A	4	(3)	2	1	自己点検・評価報告書
8	5	22	学校関係者評価結果を公表しているか	B	(4)	3	2	1	ＨＰ

1　課題

○　学校関係者評価結果が全教職員に周知され、教育活動に反映される体制の構築が必要である。

2　今後の改善方策

○　学校関係者評価を受け、課題改善に向けた重点目標を設定・共有し、PDCA サイクルの充実を図る。

3　特記事項

○　コンプライアンスに関する社会の関心の高まりを受け、職員への全体研修を通して個人情報保護法の遵守や人権教育・人権問題への配慮など、コンプライアンスに対する意識を向上させている。

9　財務				カテゴリー	適切・・4、ほぼ適切・・3、やや不適切・2．不適切・1				エビデンス例
9	1	中項目	財務基盤（学校の中長期的な財務基盤は安定しているといえるか）						
9	1	1	教育活動を安定して遂行するために必要かつ十分な財政的基盤を確立しているか	A	4	(3)	2	1	財産目録、貸借対照表、資金収支計算書
9	1	2	年度予算・中期計画が策定されているか	A	4	3	(2)	1	年度予算・中期計画が周知されているとはいえず、実働的に活用できているとはいえないと判断した。
9	2	中項目	予算・収支計画（予算及び収支計画は有効かつ妥当か。予算及び収支計画に基づき、適正に執行管理を行っているか）						
9	2	1	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	A	4	(3)	2	1	理事会議事録、評議員議事録
9	2	2	予算及び計画に基づき適正に執行管理を行っているか	B	4	(3)	2	1	収支計画書
9	3	中項目	監査（財務について会計監査が適正におこなわれているか）						
9	3	1	私立学校法及び寄付行為に基づき適切に監査を実施し、理事会、評議員会に報告しているか	A	4	(3)	2	1	会計監査報告書
9	4	中項目	財務情報公開の体制整備はできているか						

9	4	1	財務情報公開の体制を整備し、適切に公開しているか	A	4	3	2	1	財務諸表、ＨＰ
9	4	2	財務情報の公開について、ホームページに公開するなど積極的に取組んでいるか	B	4	3	2	1	ＨＰ

1　課題

○　西日本の在籍数を見ると令和 4 年度入学生は 30 名前後、令和 5 年度 80 名程度と推測されるため、財政的な見通しを持ち、対応を準備する必要がある。

2　今後の改善方策

○　年度予算・中期計画を作成するために、他校の資料を参考に費目等の選択を随時、進めていく。

3　特記事項

○　コロナ感染症の影響による留学生の入国制限等により募集目標の達成はできなかったが財務基盤には大きな影響は受けなかった。

○　財務管理については、税理士法人の指導に基づき徹底されており、公明・公正な財務状況となっている。また、会計監査においては税理士法人が監査し、適切な対応を実施している。

１０　社会貢献・地域貢献				カテゴリー	適切・・４、ほぼ適切・・３、やや不適切・２．不適切・１				エビデンス例
10	1	中項目	社会貢献・地域貢献（学校の教育資源や施設を利用した社会貢献・地域貢献を行っているか）						
10	1	1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献地域貢献を行っているか	A	4	3	2	1	
10	1	2	地域に対する公開講座･教育訓練（公共職業訓練等を含む ） の受託等を積極的に実施しているか	A	4	3	2	1	
10	2	中項目	ボランティア活動（学生のボランティア活動を奨励・支援しているか）						
10	2	1	学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	A	4	3	2	1	行事予定表、博多駅清掃参加記録

1　課題

○　特になし

2　今後の改善方策

○　特になし

3　特記事項

○　コロナ禍において地域との交流活動の実施は制限を受けているが、月に一度の博多駅清掃は継続的に取り組み、高い評価を得ている。

○　地域の方と触れ合うことができる地域イベントや小・中学校との交流イベントについては、連携は図っているものの、いまだ実施が難しい状況にある。

○　社会や地域へ施してきた貢献活動は、学内で実施する教育活動に劣らない教育効果をもたらしており、また、地域の方から本学学生に対する理解・協力を得られる貴重な機会であることから、引き続き、関係機関との連携を図り、コロナ禍における交流・貢献のあり方を検討していく。

１１　国際交流				カテゴリー	適切・・４、ほぼ適切・・３、やや不適切・２．不適切・１				エビデンス例
11	1	中項目	留学生の受入れ・海外への留学（留学生の受け入れ、海外への留学における学習支援や生活指導等を適切に対応し、管理体制を整備しているか）						
11	1	1	留学生の受け入れ・派遣について戦略をもって行っているか	A	(4)	3	2	1	入管提出資料一式、
11	1	2	留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	A	(4)	3	2	1	入国の手引き、組織図
11	1	3	留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	A	(4)	3	2	1	学生心得
11	1	4	学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	A	(4)	3	2	1	

１　課題

○　地域の学校や自治体に対し、本学が地域に働きかける交流の場を積極的に持とうとしているが、コロナ禍のため、集会やイベントが開催できていない。

２　今後の改善方策

○　地域との交流を本校のキャリア教育に位置づけ、本学発信の異文化交流を図る。また、本校の教育活動並びに学生の特長を理解してもらうために、学校行事に地域の方を積極的に招き、または、出向き、相互理解を深めていく。

３　特記事項

○　学生が日本になじもうとする姿勢に触れてもらうことで、本校及び本校学生への理解も深まり、そのことが、真の国際交流・国際理解につながると考える。

○　行事に参加いただいた方からは、学生の素直さや頑張りを評価していただくことができた。

自己点検・評価

専門学校　国際貢献専門大学校

点検評価実施日：令和４年６月２日

実施責任者　：　宮田　智栄（学長）